

ワーキング ヴォイス

NO. 35 2012年 1月 15日

再就職 厳しいなあ～



いつになっても働ける安心社会

就労支援 自らのキャリア、セールスポイントを最大限に活かそう。

60歳を迎えたお父さんに「お疲れ様でした」と言えなくなる日も近いかもしれません。

急速な少子高齢化にともなって、高齢者が少なくとも年金支給開始年齢までは働き続けることができるよう、2006年4月に高齢者雇用安定法が改正され、定年延長や雇用継続制度の導入などが企業で取り入れられてきました。

労働政策研究・研修機構が2009年に実施した「高齢者の雇用・就業の実態に関する調査」で男性の就業率をみてみると60～64歳で75.1%、65～69歳でも52.0%となっています。「再就職した理由」では「経済上の理由」が全体で72.8%と最も高くなっており、年金支給開始年齢の引上げ等による経済事情もある中で、60歳を超えても「十分に働ける」また「働かないといけない」という人が多くいることがわかります。

働く意欲のある全ての人々が能力を発揮し、安心して働き安定した生活を送ることができる雇用環境を整えることが求められますが、現実はどうでしょうか。同調査の「退職後の就業形態の希望と状況」にみると、男性の55～59歳では正社員を希望する割合は61.2%ですが、実際就けている人は27.8%に過ぎません。雇用形態の多様化が進み、非正規就業が増加傾向にある中で、「安定した再就職＝正社員」と捉えるならば、その門は狭くなりつつあります。こうしたミスマッチは、時として特に正社員としての前職キャリアを持つ中高年に、再就職へたどり着くまでの困難として立ちはだかります。

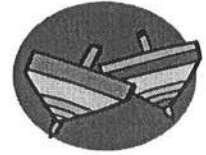
将来を支える若年者が安心して働き安定した生活を送ることができるようにしなければならないのは言うまでもありません。しかし一方では、世帯の生計の中心として家族を支えるために「早期に再就職を」ともがく、中高年の離職者も少なくありません。そこで、今月号では中高年の再就職支援にスポットをあて、ジョブえひめ再就労支援センターが開催した「中高年再就職支援セミナー」で講演された宮内美奈子さん(ヒューマンサービス ソリューションズ代表)に中高年の方の再就職へのポイントについてお話を伺いました。

Q: 現在の労働市場はどのようになっているのでしょうか。

愛媛労働局職業安定部が発表した労働市場月報(平成23年10月分)によると有効求人倍率(求職者一人当たり企業から平均何件の求人があるかを表わしたもの)0.77倍(新規学卒者を除きパートタイムを含む)と若干回復傾向にありますが、依然として雇用情勢は厳しい状況にあり、持ち直しの動きに足踏みが見られます。主要産業別新規求人は1位が社会保険・社会福祉・介護事業が1004件と多く、2位

が卸売業・小売業、3位が食品製造業となっています。電気、機械は少ない状況です。中高年求職者は希望する正社員での再就職はかなり難しい現実があるのを知っていただきたいのです。若年層や学生とは違い、根気と自分のやる気・気持ちをコントロールし持続する力が必要です。理想ばかりを追い求めていると就労が困難となります。労働市場の現実を十分に見つめてほしいと思います。

Q： 就労にあたりどのような考え方で臨む必要がありますか。



自分の固定観念や間口を広げ整理していく「パラダイム（生きてきた過程で築き上げてきた基幹、価値観、枠組み）の変革」が必要です。人間の考え方の要因は三層で成り立っていると言われています。

第一層は「不変」・・・簡単に変わることはありません。生まれ持った性格や物心づかない三歳くらいまでの幼い時期の体験から形成されます。第二層は「難変」・・・変えるのは難しいですが、変わることはできます。人によりそれぞれ異なりますが、自らが変えようと思えば変えられ、行動変容にまで至ることができます。代表的なのが価値観です。他人と過去は変えられないが、自己と未来は変えられるという言葉のように、これまでの固定観念を変えないで理想ばかり追いかけると就労が困難になりかねません。現状を見つめ、自らが変わろうとすることが大事です。労働市場の現実を十分に見つめてほしいと思います。第三層は「可変」・・・変えることのできる層です。しかし年齢を重ねるほど、この「可変」を変えるには努力が必要となります。常にプラス要因だけではなく、自分磨き、学ぶ姿勢を怠るとマイナス要素が拡大してします。これまでの固定観念を頭の上ののっかっている大きくて重い漬物石にたとえてみると、その漬物石を自らが少し動かしてやれば、自分自身が変わる突破口になります。自分の固定観念を自らが少し変え、就労意識の間口を広げて、自らが選択し行動してほしいと思います。

Q： 職業選択に失敗しないために重要となることはどういうことでしょうか。

「キャリアアンカー（職場にイカリをおろすという事）の明確化」です。職業選択では自らの労働条件で譲れないものがそれぞれあると思います。（時間・視野・お金・出世・ストレス・安定・人間関係・家族・自分らしさ等）の中から優先順位を3つくらいに絞り込み選択していくことが大切です。大変な作業ですが、それを怠るとせっかく就職した企業で長続きせず、再び就職活動に逆戻りしかねません。企業側はよほどのことが無い限り、求人要件基準を譲ることは期待できませんので、事前に自らの中でキャリアアンカーのすり合わせ、明確化をしておくことが必要かつ重要項目であると思います。

Q： 面接時、大切な事はどのような事でしょうか。

まずは、第一印象です。第一印象は6秒で決まると言われます。その第一印象の93%は非言語と言われています。まずは「視覚」で、相手に訴えることです。身だしなみが初対面では重要になってきます。清潔感のある服装は必須ですが、男性であれば髪形や髭の手入れ、女性ならばお化粧の仕方、髪形などです。次の要素は、「態度、動作」です。歩き方やお辞儀の仕方などに表れてくるので注意が必要です。きびきびした行動が好印象を与えます。仕事に対する熱意や誠実さ自信等を「態度、動作」によって、訴求力のある自己アピールをすることができます。次は「聴覚」による表現です。面接においては、やや大きめの声で語尾まではっきりと話されるといいと思います。せっかくなので得た話をしても相手に聞こえなければ「独り言」になってしまいます。次は、表情です。面接場面では緊張してしまうかもしれ

ませんが、挨拶時の笑顔や明るい表情での受け答えを意識して下さい。そして「視線」も重要です。相手の目を見ながら話しましょう。感じよく・わかりやすい表現・言葉による自己アピール、態度や表情・しぐさによる自己アピール、これを意識して面接に臨むと相手に与える印象が格段に上がり高く評価されます。ご自宅で面接場面のミラートレーニングをしておかれると効果的です。

Q: 長い職業人生の中、誰しも多くの挫折を経験すると思いますが、その時の対処の方法としてはどのような事がありますか。

キャリア形成の8割は偶発的なものであるという理論があります。その偶発的出会いをチャンスととらえ行動することが大事だと思います。この中には5つの要素があります。自分の「好奇心」に素直に従って行動していく。目標を決めたら諦めず結果が出るまでやり尽くす「持続性」。自分の能力に線引きしない「柔軟性」。失敗を糧にして成功への方策を考え、常に明るく考える「楽観性」。挑戦し続けることには大きなリスク、ミスも生じますがそれらの事から学びとりに活かす「冒険心」です。

現在与えられているミッションに対して自分の持てる力、能力を精一杯出し切る行動の継続。能力を出し続けて動く事、考える事を惜しまないで下さい。自分の持てる力を最大限に発揮して継続していると、自分にとって都合の良い偶然に出会うと言われます。困難な時に出くわした時でも日頃から全力投球している人は、乗り越えられる可能性が必ず高まります。



Q: 最後に中高年の就活中の皆さんに一言お願いします。

中高年には今までに培ってきたキャリアがあるのです。若者が比較的苦手とする分野が逆に中高年の強みと捉える事ができます。若者は処理スピード、覚えるスピードはとても速いです。中高年はないかもしれません。しかし、中高年しかできない仕事があります。中高年ならではの自分の強みを自ら整理確認し、かつ自信を持つことが重要です。たとえば任務達成に対する責任感、最後まで諦めない忍耐力と熱意。指示待ちではなく積極的な行動力、経験からくる指導力など。これまで重ねてきた自分のキャリアから湧き出る能力、そんな知恵と力、社会経験を活かす職種を選択しましょう。より効率の良い就職活動に繋げるためには、求職者自身が労働市場の最新状況、企業から発信される求人票からの情報を自らが学び、賢くならなければなりません。そして希望する労働条件が一つでも多く叶った就職先に就いていただきたいと心から願っています。



再就職支援セミナー開催のご案内

主 催: 愛媛県労働者福祉協議会
開 催 日 時: 2月15日(水) 13:00~16:30 (休憩 14:30~15:00)
会 場: 愛媛県勤労会館 (ピュアフル松山 3F 会議室)
講 師: ヒューマンサービス ソリューションズ代表 宮内美奈子
セミナー 内容: 第1講座 「社会に選ばれる人材とは?」「自分のキャリアを最大にアピールするには?」
第2講座 選考で一番重視される面接の実践を交えながらの自己PRなど身に付けスキルアップ
受 講 料: 無料(事前申し込み必要) **申 込 み:** ジョブえひめ就労支援センター Tel.089-915-2401



★ セミナーに参加された方の就職活動で「今困っている事、悩み」などを紹介します。

100回チャレンジする意欲がないと面接までに至らない。目標達成までは難しい。それまでのプロセスを考えるとやはりモチベーションが途中で下がりそうで心配。どちらかと言うとモチベーションが下がる事の方が私にとっては力点を置く必要があるかなと思います。(60代 男性)

4点セット(添え状、ハローワーク紹介状、履歴書、職務経歴書)の書類の書き方と自己PR方法が分かりません。(50代 女性)

求人情報の中で年齢不問となっているのにもかかわらずそうでもないようです。この見極めが難しいです。(50代 男性)

現在、体調に自信がないため、勤務に耐えられるか心配です。(40代 女性)

どのように取り組んでいくか。先が見えない不安、焦りがあります。(50代 女性)

同じ会社に長く勤めていたので、初めての再就職活動でいろいろ不安です。(40代 男性)

現在60代、まだ働ける身体でありながら、求人対象から外されるのは寂しい。企業側の都合が優先されるのは仕方ないが、世の中の景気が就職に左右され、残念である。今は就活以前のこの状況がジレンマになりストレスが溜まります。(60代 男性)

就職が決まらなると、自分だけが、世の中から取り残されていくようで毎日が不安です。(40代 女性)

★ジョブえひめ就労支援センターでの再就職に向けての支援事例を紹介します。

相談者は、大学卒業後に複数の職場を経験され、工務店でCADオペレーターとして勤務されていましたが、景気の悪化に伴う業績不振の為、離職されました。スキルアップの為職業訓練校にも通われたがポジティブな方で、就職活動も「月に3社以上は面接を受ける」事を目標にチャレンジを重ねられていましたが、なかなか就職に結びつかず苦労をされている状況の中、当センターに来所されました。

当センターでは、まず就職活動の状況や希望などについてじっくりお話を伺ったところ、前職キャリアを活かしたいとの思いでCADオペレーターの求人チャレンジを重ねられているようでした。何度か来所いただき就活状況をお聞きする中で、煮詰まっている様子だったので、「経験を活かすことは大切ですが、技能スキルだけに縛られず、少し職種を広げてみてはどうですか」と助言し、他の事務職の求人のいくつかにチャレンジされました。

書類選考に向けたアドバイスとしては、応募先に合わせて書類の作成内容を変えることをおすすめし、企業にとって会ってみようと思わせる履歴書・職務経歴書等になるよう送付の封筒にまで気配りしましょうとアドバイスさせていただきました。その結果、書類選考に通過し、二次の面接に進まれたので「第一印象を良くするために注意すべき点」を伝え、見事に合格！無事に再就職にたどりつかれました。

入会后約1カ月半と、来所される方の中では比較的短期間で就職までたどりつけました。一つには、前向きに就活に挑まれ、不採用となってもめげずに次々とチャレンジしたこと、二つには、職種に固辞せず新しい事にも興味を広げたことが、早期に再就職に結びついたポイントと思われます。チャレンジ4回での成功となりました。



愛媛県委託事業：(平成23年度 労働者の声発信事業)

発行：社団法人 愛媛県労働者福祉協議会

〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛県労福協会館 3F

TEL 089-946-2296 FAX 089-947-5616

Email e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp HP <http://ehime.rofuku.net/>

